主要年限毎の金利算出方法（概要）

1．グリッドの設定

1 年～40 年まで 1 年毎にグリッドを設定。

2．選定対象国債の設定

グリッド毎に選定対象国債を以下の通り設定。

グリッド	固定利付国債
1、2 年	2 年債
3～5 年	5 年債
6～10 年	10 年債
11～20 年	20 年債
21～30 年	30 年債
31～40 年	40 年債

3．銘柄の選定

（1）各年限債のカレント銘柄（最大回号銘柄）を対象銘柄に選定。

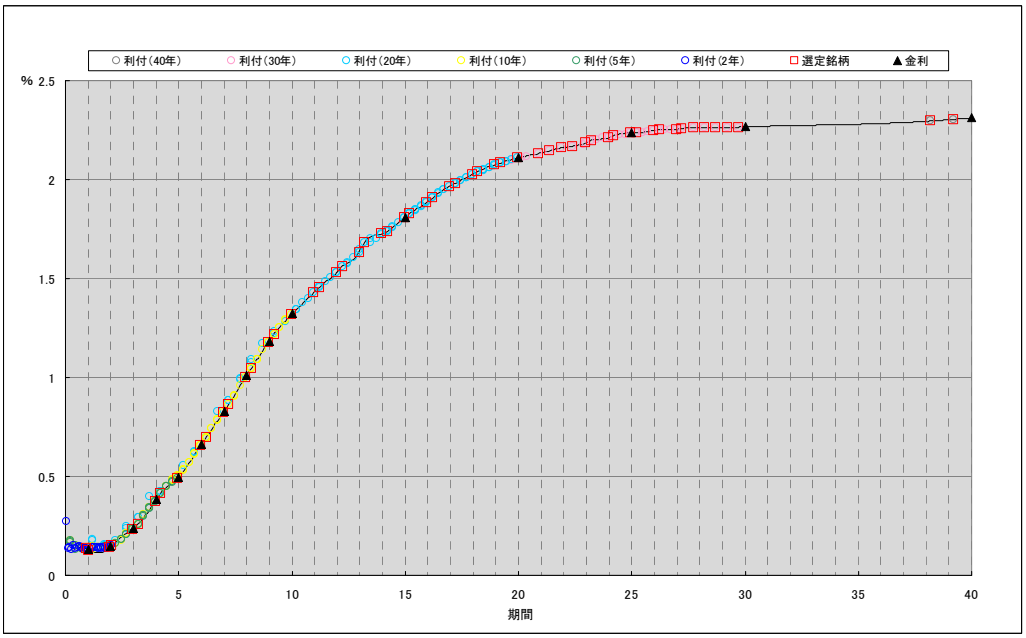
（2）（1）で選定したカレント銘柄が存在するグリッド（内側或いは外側）以外については、グリッド毎に残存年数がグリッドの年数に最も近い銘柄をグリッドの内側／外側においてそれぞれ1銘柄ずつ選定※。

※残存年数が同一の銘柄が複数存在する場合には最もクーポンが大きい銘柄を選定。さらにクーポンも同一の銘柄が複数存在する場合には最も回号が大きい銘柄を選定。

4．イールドカーブの形成

3．において選定した銘柄の実勢金利を接点として、3 次スプライン関数を用いて補間することによりイールドカーブを形成。

5．主要年限毎の金利算出

4．のイールドカーブより、主要年限毎の金利をコンスタントマチュリティーベースで算出。

＜イールドカーブのイメージ＞